



# 歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

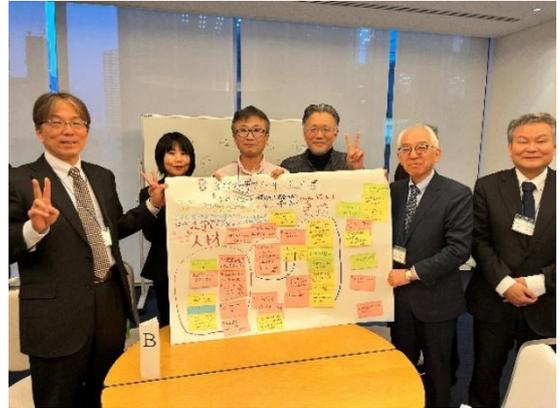
44号

令和8年3月8日

## 地域包括医療・ケア研修会

1月16日・17日にお江戸で北は北海道、南は九州鹿児島国保直診の医療従事者が参加した地域包括医療・ケア研修会が開催されました。

16日はなんと朝からJRが停電のため在来線が運休、東京駅を出てもタクシー乗り場は大行列、私はというと右も左もわからないまま目的地まで歩いて移動しました。そんなハプニングがあったにもかかわらず定刻に開始された地域包括医療・ケア研修会は、厚生労働省国民健康保険課長唐木啓介氏の講演から研修がスタートしました。上の写真は、「地域医療のありたい姿を語り合おう」というテーマでのグループワークの成果です。10年後の地域の課題やその解決法についてワールドカフェ方式で話し合い、参加された多くの地域の医療従事者が直面している課題や解決策を数多く聴くことが出来ました。2日間缶詰め状態の研修会でしたが今後の地域の在り方を考えるための非常に良い時間を過ごすことが出来ました。



## 根面う蝕



“歯茎が下がった” “歯が伸びた”と感じたことはありませんか？歯の長さは同じなので歯茎が下がって歯が伸びたように感じるだけです。その歯茎がなくなった部分は、歯の根っこが見えてきています。そこは、セメント質という薄い層ですが剥がれ易いため象牙質が露出した状態になります。象牙質は、歯冠を覆っているエナメル質よりも弱いためう蝕になりやすい部分です。そして、歯と歯茎の境目は汚れが付きやすく歯ブラシでも取れにくい箇所になります。表面は虫歯が大きくなっても中で広がっていたり歯をグルッと取り巻くようう蝕が広がっていたりすることがあります。

活動性の根面う蝕は、表面がプラークで覆われていることが多く、薄茶色を呈していて表面は粗造そしてう蝕象牙質は柔らかい。

非活動性の根面う蝕は、茶色から黒色を呈していて表面は滑沢で硬く感じられる。治療法は、不用意に歯質の切削を行わず、再石灰化によりう蝕の進行を抑制しそのままう蝕を管理することを提唱されています。そのために、フッ化物やう蝕薬（フッ化ジアミン銀）塗布により非切削でう蝕の進行抑制を行う方法が増加しています。

文責 診療部長 占部秀徳